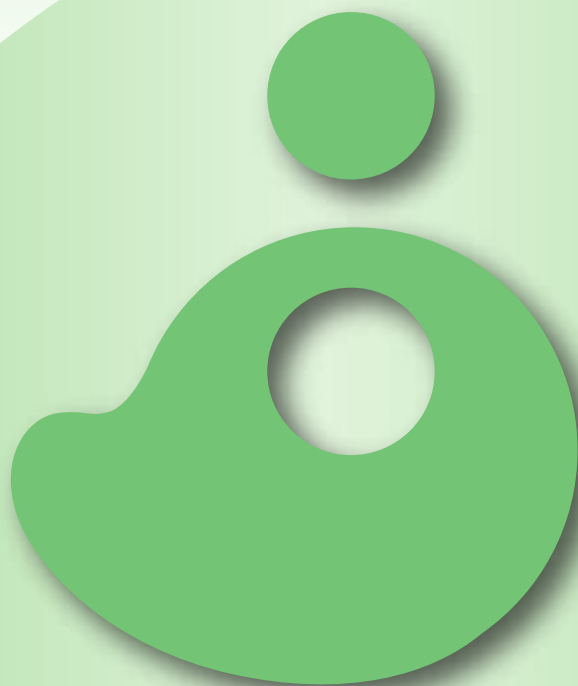




第51期 業務報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



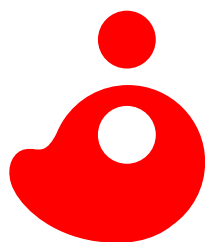
心 ふれあい 親・近・感

島根中央信用金庫

〒693-0001 島根県出雲市今市町252番地1

TEL (0853)20-1000(代)

<https://www.shimanechuuou.co.jp/>



経 営 理 念

私たちは、次の3つを経営理念とし、
信用金庫の社会的責任と公共的使命の達成に向けて
役職員の総力を結集してまいります。

1. 地域社会の発展に貢献し、ともに成長する信用金庫を目指します。

1. 健全経営を堅持し、信頼される信用金庫を目指します。

1. 職員の生活向上を図り、躍動感あふれる信用金庫を目指します。

当 金 庫 の 概 要 (2025年3月31日現在)



創 立	昭和23年9月18日
本 店	島根県出雲市今市町252番地1
店 舗 数	21店舗 (本店1、支店19、出張所1)
出 資 金	19億48百万円
預金・積金	2,938億円
貸 出 金	1,736億円
会 員 数	26,369名
常勤役職員数	226名



ごあいさつ

島根中央信用金庫

理事長 福間 均

向夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
ここに第51期(2024年度)の事業概況と決算状況をご報告申し上げるにあたり、日頃のご支援とご愛顧に感謝し、心よりお礼申し上げます。

2024年度の我が国経済は、堅調な設備投資や個人消費の持ち直しを背景に緩やかな回復が続き、企業収益が高水準で推移するなか、春闘賃上げ率が33年ぶりに5%台を記録するなど、経済の好循環に向けて推移しました。日経平均株価は、2024年3月に初の4万円台乗せを果たした後、8月には史上最大の上げ幅と下げ幅を記録するなど大きな動きもありましたが、年間を通しては3万円台後半での堅調な推移となりました。

当金庫を取り巻く金融環境は、日銀が17年ぶりに利上げに踏み切ったことで5月には長期国債利回りが11年ぶりに1%に到達し、その後、年度末近くには再利上げを織り込む形で1%台半ばに上昇し、長きにわたった低金利時代が終焉し「金利のある世界」が再来しました。

このような経営環境ではありましたが、当金庫は地域に根差した金融機関として、「収益性基盤の強化」、「健全性基盤の強化」、「人財の育成」を骨子とする第6次中期経営計画に基づき、顧客利便性の向上や地域の活性化に資するべく、6月に江津支店をJR江津駅の隣接地に新築移転オープンしました。また、県内事業者の販路拡大や県産品のPRを目的に、11月に島根県と県内3信金の合同で「島根県内3信用金庫ビジネスフェア・島根県産品展示商談会2024」を開催しました。

また、当金庫では積極的な若手採用、人材育成、働きやすい職場づくりに努め、厚生労働省の「ユースフル認定」(2年連続)、「えるぼし(2つ星)」を取得、経済産業省の「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」に2年連続認定、島根県の「こころカンパニー」、「しまね女性の応援企業」、「しまねイクボスネットワーク」、出雲市の「出雲市イクボス宣言企業」に認定・登録されました。

これらの取り組みを地域の皆様にご理解いただいたことで、当金庫の預金積金の期末残高は、2,938億円と12期連続で増加し、貸出金も1,736億円に伸長した結果、売上高に当たる経常収益は79億34百万円、金融機関として最も中核的な利益を表わすコア業務純益(投資信託解約損益除く)は13億28百万円、当期純利益は9億21百万円となり、増収増益となりました。これを受け、剰余金処分において配当を0.3%引き上げ、1.5%から1.8%とすることとしました。

これもひとえに地域の皆様方の温かいご支援の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

2025年度は第7次中期経営計画の初年度であり、引き続き、お客様の利便性向上、更なる業務の効率化や収益力の強化を図り、地元の預金を地元の方々への融資で還元していく持続可能なビジネスモデルの強化に努めてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

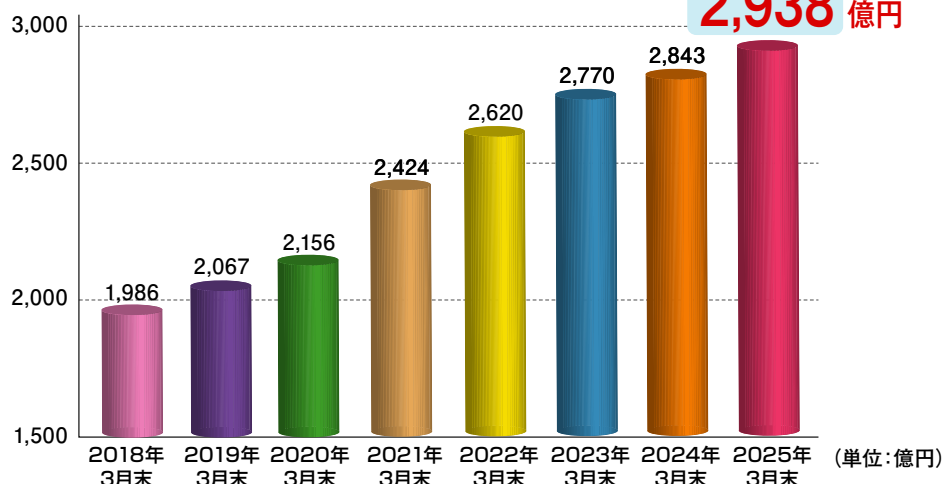
2024年度の業績ハイライト

※記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

預金積金の状況

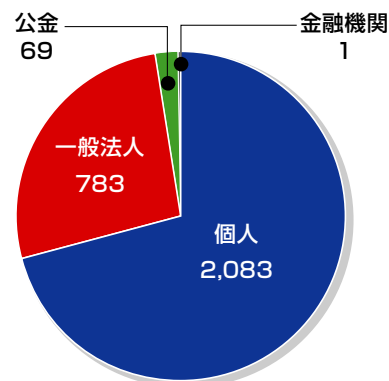
預金積金残高は、個人のお客さま、一般法人のお客さまからの預金共に順調に増加し、前期比95億19百万円増加(3.3%増)の2,938億92百万円となり、**おかげさまで過去最高の期末残高となりました。**

預金積金の推移



●預金者別預金残高の構成

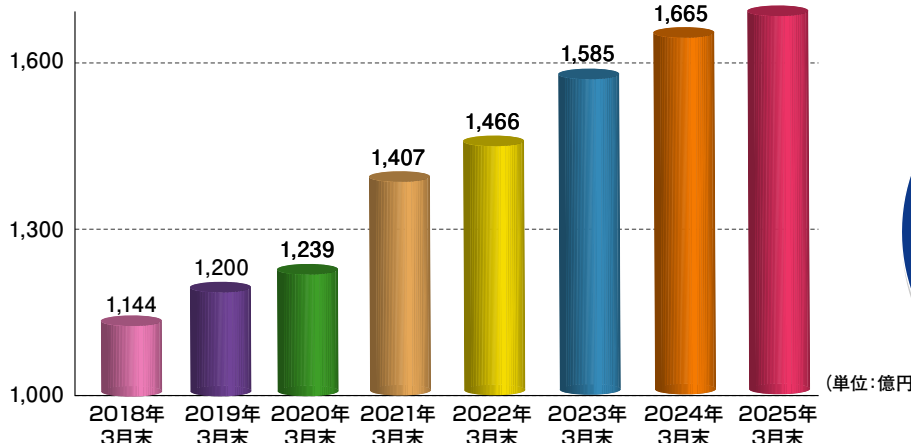
(単位: 億円)



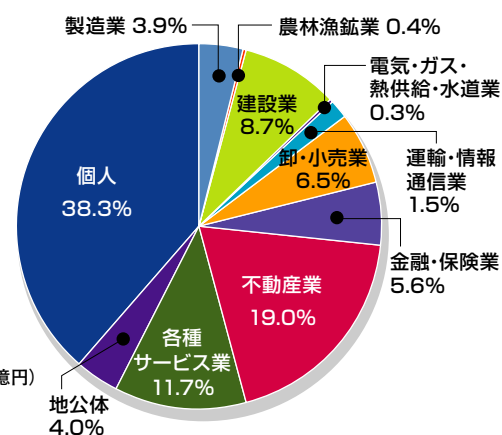
貸出金の状況

貸出金残高は、引き続き地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、前期比71億46百万円増加(4.2%増)の1,736億57百万円となり、**おかげさまで過去最高の期末残高となりました。**

貸出金の推移



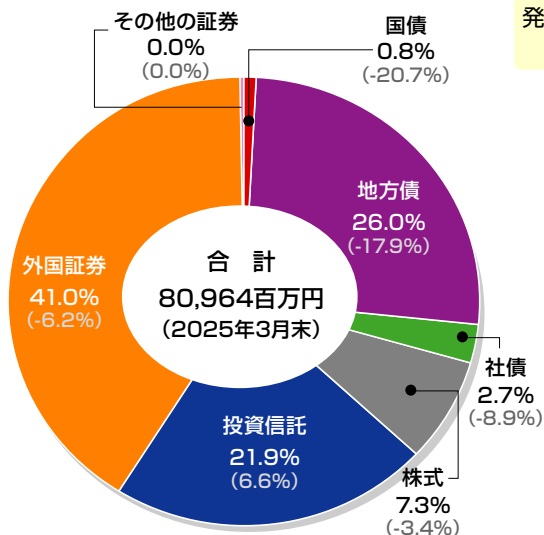
●貸出金業種別残高構成比



貸出金以外の運用状況

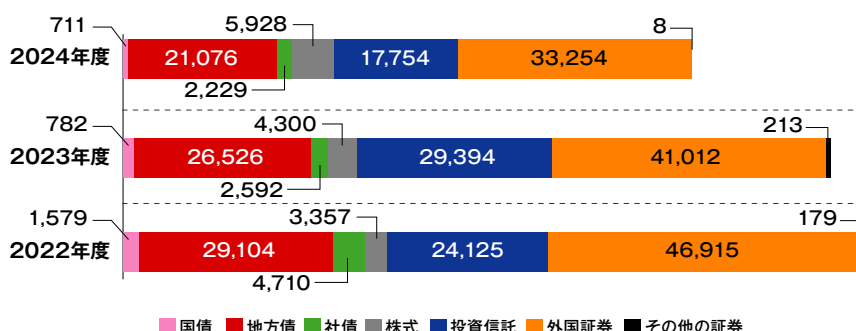
有価証券の構成割合

※()内は評価損益率を記載しております



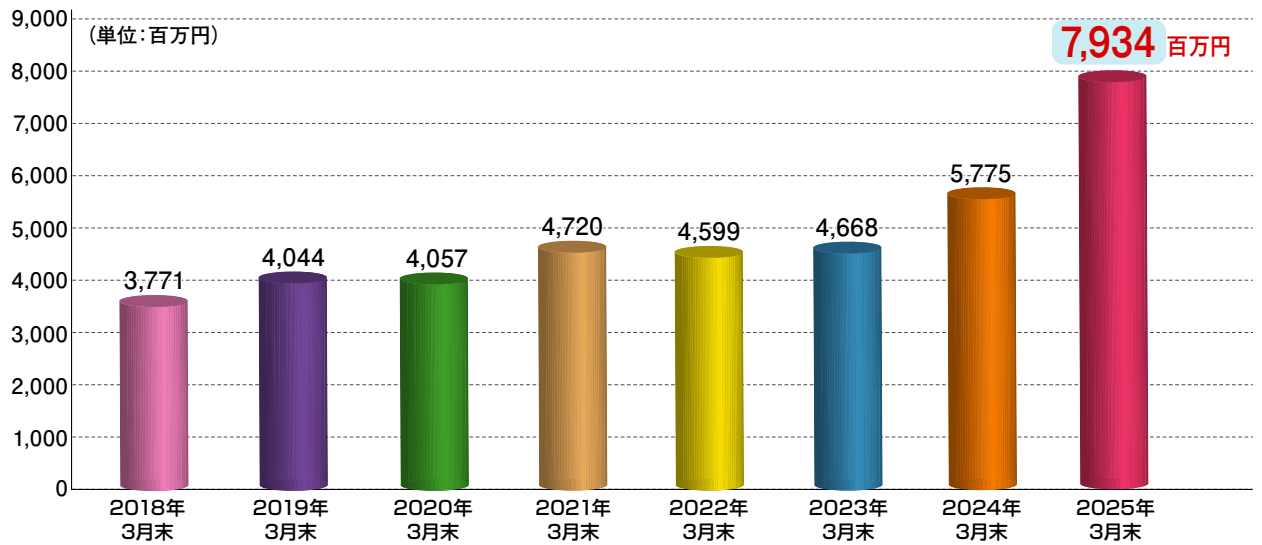
お客様からお預かりしている預金積金の一部は、貸出金の他に有価証券や預け金等でも運用しております。市場金利の上昇に伴い一部の債券に金利リスクによる評価損が発生しておりますが、満期時には額面で償還されるもので信用リスクはありません。引き続き、有価証券等のリスク管理の高度化を図り安全な運用に努めてまいります。

●有価証券期末残高の推移 (単位: 百万円)



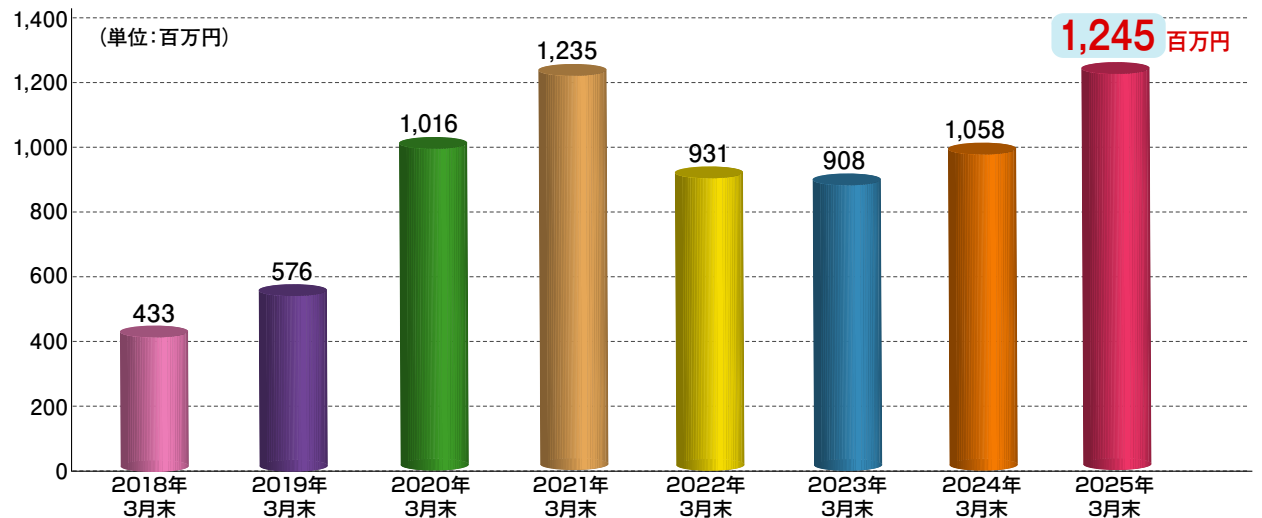
経常収益

売上高にあたる経常収益は、前期比21億58百万円増加(37.3%増)し、79億34百万円となり**3期連続の増収(過去最高)**となりました。



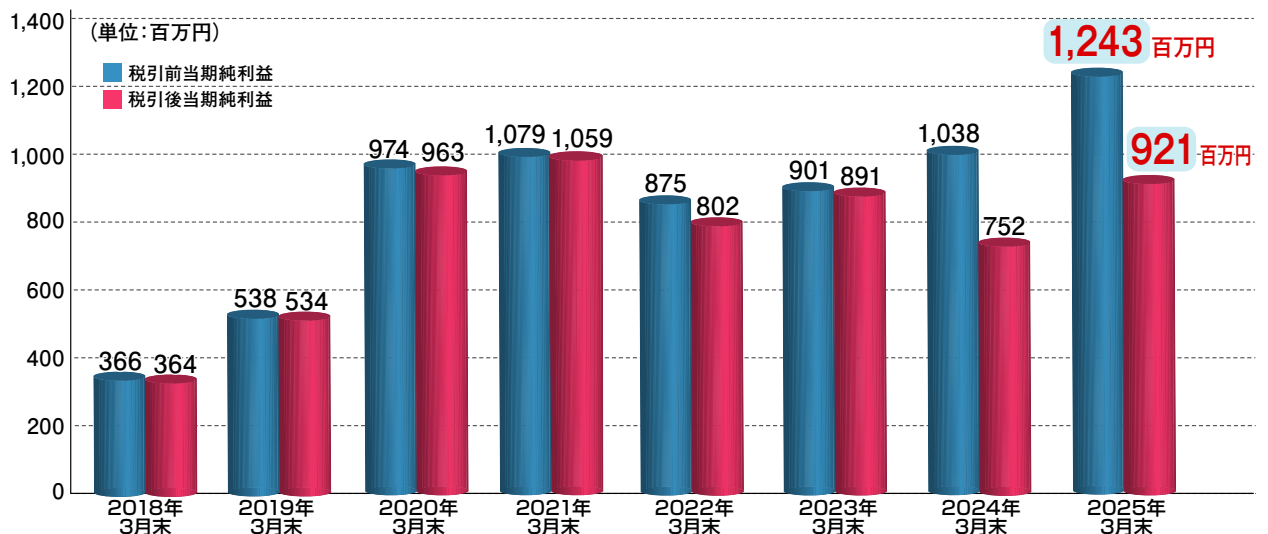
経常利益

経常利益は、前期比1億87百万円増加(17.6%増)し、12億45百万円となり、**2期連続の増益(過去最高)**となりました。



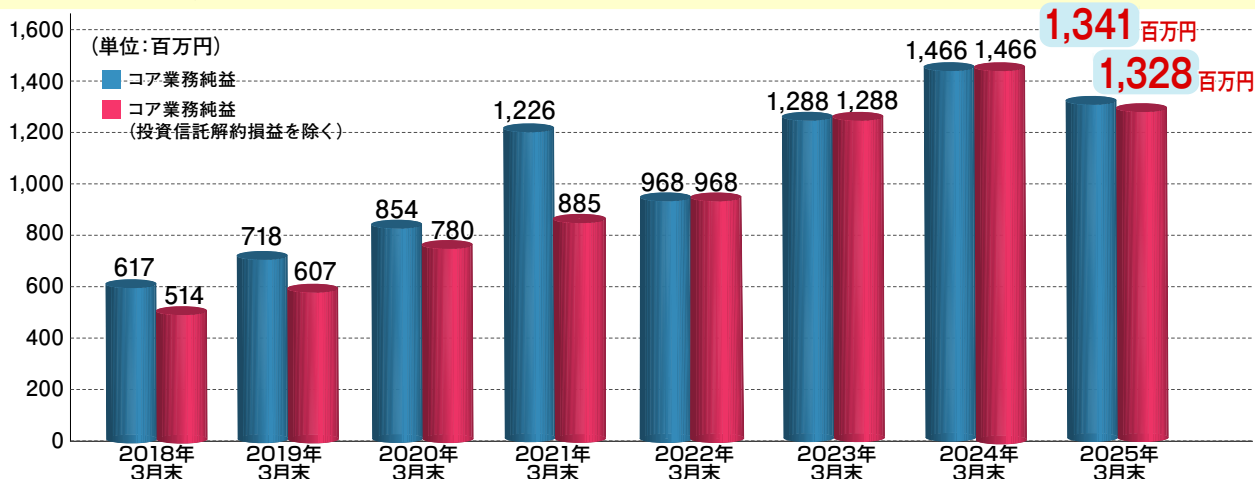
当期純利益

税引前当期純利益は、前期比2億5百万円増加(19.7%増)し、12億43百万円となり**3期連続の増益(過去最高)**、税引後当期純利益は1億68百万円増加し、9億21百万円(22.3%増)となり引き続き高い収益性を維持しております。



コア業務純益 コア業務純益（投資信託解約損益を除く）

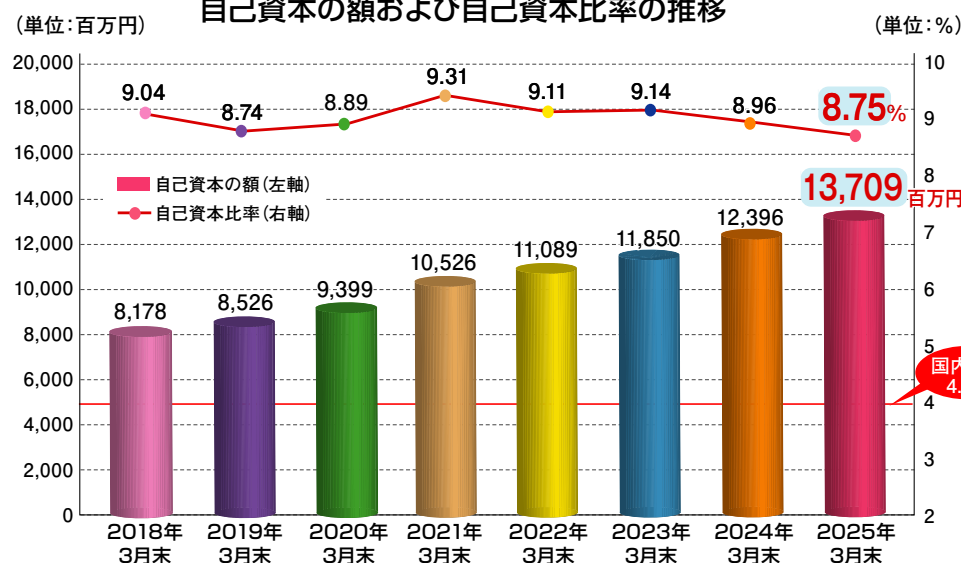
本業での中核的な収益力を示すコア業務純益（投資信託解約損益を除く）は、前期比1億38百万円減少（△9.4%減）し、13億28百万円となりました。過去2番目に高い額となり引き続き高い収益性を維持しております。



※「コア業務純益」とは、業務純益から有価証券の売却等損益と一般貸倒引当金繰入額を控除した中核となる収益です。

自己資本比率の状況

自己資本の額および自己資本比率の推移



自己資本比率 **8.75%**

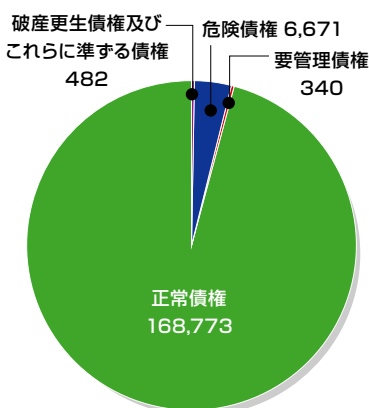
経営の健全性を示す自己資本は、順調な利益の蓄積により前期比13億12百万円増加（10.5%増）し、137億9百万円となりました。

自己資本比率は、2025年3月期からのより厳しい新基準であるパーゼルⅢに対応したことや、貸出金等のリスクアセットが増加したことから、前期比0.21ポイント低下し、8.75%となりました。

なお、国内基準の4.00%を大きく上回っており、健全性には問題ありません。

不良債権の状況

金融再生法による開示債権及び同債権に対する保全状況



2025年3月末現在 (単位: 百万円)

(単位: 百万円)	
債権の区分	2025年3月末
金融再生法上の不良債権(A)	7,494
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	482
危険債権	6,671
要管理債権	340
三月以上延滞債権	—
貸出条件緩和債権	340
正常債権	168,773
合 計 (B)	176,268
保全額 (C)	6,470
担保・保証等	5,176
貸倒引当金	1,293
保全率(C)/(A)	86.33%
不良債権比率(A)/(B)	4.25%

不良債権比率 **4.25%**

不良債権比率は前期比0.01ポイント低下し、4.25%となりました。なお、不良債権の86%は担保や貸倒引当金で、残り14%も自己資本でカバーされており高い保全率で健全性に問題はありません。

また、当金庫では可能な限り再生支援することを第一としていることから、積極的な不良債権比率の引下げは行っておりません。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。

要管理債権

信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。

三月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。

貸出条件緩和債権

債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。

当金庫の人的資本経営への取組について

経営理念

職員の生活向上を図り、躍動感あふれる信用金庫を目指します。

経営方針

協調と融和を基本に、人材の育成に努め、気概と誇りを持った企業集団を築きます。

当金庫の人財戦略に対する基本的な考え方

当金庫は、経営方針に「人材の育成」掲げ、2025年度から始まる第7次中期経営計画においても重点施策としており、その為の人的資本経営の推進、DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)は経営における最重点項目と位置付けています。

当金庫では創造性・多様性はサスティナビリティに関する重要な課題であると考えており、また多様な人財の活躍は創造性・生産性を高めるためのイノベーションを促進するものと考え、経営理念である「躍動感あふれる信用金庫」を目指すために、「働きがい」「働きやすさ」「女性の活躍の推進」等に積極的に取り組み、職員全員が当金庫で働くことに自信を持てるような経営を推進しています。

「地元で確固たる存在感を示し、地元一番店として、地元とともに成長し続ける金庫を目指します」という当金庫の長期ビジョンを達成するために、今後も多様な人財が活躍できる人的資本経営の推進、DE&Iの実現に向けた取り組みを進めて参ります。

当金庫が登録または認定されている、人的資本経営を推進する各種制度と当金庫の働き方データ



■ ユースエール企業への認定

若者が働きやすい中小企業として厚生労働大臣が認定する「ユースエール企業」に2023年9月から2年連続で認定されています。ユースエール認定制度は若者の採用や育成に積極的で有給休暇の取得率が高いなど、働きやすい職場を表彰する制度で、当金庫の若者の採用実績や離職率の低さ、有給休暇の取得実績の高さなどが評価されました。

年 代 別	有 給 休 暇 取 得 日 数 ・ 取 得 率	平 均 勤 続 年 数	
(2025年3月末現在)	(2024年度 正規職)	(2025年3月末現在 正規職)	
10代 — 4人	13.1日	男性 20年0ヵ月	
20代 — 64人	71.8%	女性 17年1ヵ月	
30代 — 39人		全体 18年8ヵ月	
40代 — 52人			
50代 — 75人			
60～64歳 17人			
65歳以上 — 9人			





■ 健康経営の実践

心身の健康、ワーク・ライフ・バランス等を図る目的で、就業時間・休暇制度に対し「正規職員の一人当たりの時間外労働時間を月平均15時間以内」、「年次有給休暇の取得日数を一人当たり平均10日以上」を目指すというKPI(個別の目標数値)を定めています。

職員とその家族の健康や公私ともに充実した生活が当金庫の経営を支える土台であるとの考えから、当金庫では役職員の心身の健康は重要な経営課題であると位置付け、「健康経営宣言」を定め、働きやすい環境づくりや役職員の健康づくりの支援に取り組んでいます。

2025年3月には経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に2年連続で認定されました。

一人当たり平均残業時間

(2024年度 正規職) 1ヵ月あたり

6時間03分

インフルエンザの予防接種費の助成

3,500円/人

心の幅広いセルフケア教育研修受講

役員・管理職・教育担当者・新入職員全員受講

当金庫の人的資本経営への取組について



■ 出産・育児のサポート

柔軟な働き方やワーク・ライフ・バランスの充実、職員家族の幸せを願い、当金庫では「育児休暇等・育児目的休暇の男性職員の取得率70%、女性職員の取得率100%」を目指すとこのKPIを定めています。

仕事と育児のワーク・ライフ・バランスを改善、充実させるため、育児休業の取得を推奨し、男性・女性職員共に育児休業を利用しやすい環境づくりを行っています。第7次中期経営計画では育児・介護・妊活に配慮した職場環境の整備に取り組むこととしており、この取り組みをさらに進めて参ります。

当金庫は仕事と子育て中の従業員を積極的に応援する企業を認定する「こころカンパニー」へ認定されております。



● 子育てのサポート 中央しんきんわいわいスクール開校 ～「小1の壁」に対応した両立支援～

「小1の壁」に対応した両立支援の一環として、当金庫では前年度「中央しんきんわいわいスクール」を開校いたしました。この取り組みは当金庫の職員が、夏休み・冬休みなどの、児童クラブや親族へ子どもを預けることができない日に当金庫の職員同士が連携して金庫内でお子さんをお預かりする取り組みです。子育てする職員が安心して仕事に取り組むことができる環境づくりと支援を行い、さまざまな事情を抱えるチームのメンバーが、それぞれ持てる能力を最大限発揮できる組織を目指しています。



わいわいスクールの様子



■ 女性の活躍推進

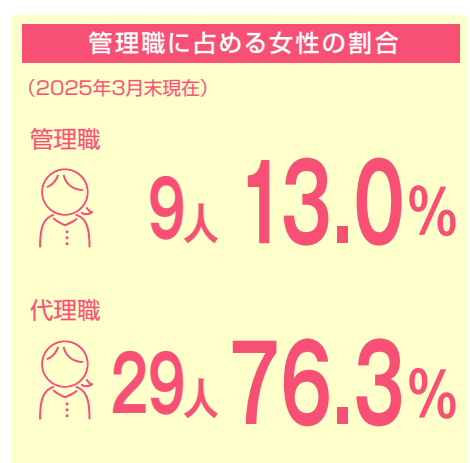


DE&I推進の一環として「管理職（次長以上）に占める女性職員の割合15%以上」を目指すというKPIを定めています。

女性職員へ向けた研修やキャリアチャレンジ制度など、多くの機会を用意することによりチャレンジへの意欲を高め、職員の多様な能力や個性を十分に発揮できる、やりがいのある職場環境を整備し、組織の活性化を図ります。

当金庫は2025年3月、女性活躍推進法に基づき女性の活躍を推進している企業を厚生労働省が認定する「えるぼし」に認定されました。採用、継続雇用、労働時間等の働き方や多彩なキャリアコースなどが評価されました。

また当金庫は女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を島根県が登録する「しまね女性の活躍応援企業」へ登録しております。



● 女性の活躍推進をサポート 不妊治療支援規程を制定

不妊治療は通院スケジュールの調整のしにくさなど、負担が大きく、仕事との両立に困難を抱える職員が少なくありません。そのため、職員が長く安心して働き続けられる職場実現のために、2025年3月、仕事と不妊治療の両立支援を目的とした「不妊治療支援規程」を制定しました。併せて、2022年から仕事と不妊治療の両立支援の一環として「職員向け妊活両立・子育て支援セミナー」を継続開催しています。

当金庫では今後も引き続き全職員が活躍できる職場づくりを進めて参ります。



えるぼし認定通知書交付式の様子



妊活両立・子育て支援セミナー



■ 職員の仕事と私生活の両立、働き方改革への取り組み

当金庫では職員の仕事と家庭の調和は金庫のサステナビリティ向上の重要な課題であると考えており、金庫および職員の成長に結びつく働き方改革には積極的に取り組み、有給休暇の取得促進や時間外労働の抑制などの「働きやすさ」と従業員エンゲージメントを高める「働きがい」を両軸で推進しています。各種休暇制度の拡充や育児のための時間外労働制限など、職員がワーク・ライフ・マネジメントを果たせ、仕事とライフイベントの両立ができるように職場環境を整備し続けて参ります。

当金庫では、2024年8月に「イクボス宣言」を宣言し、島根県の「しまねイクボスネットワーク」へ加入、出雲市の「出雲市イクボス宣言企業」へ登録しています。

これまでのこのような取り組みが評価され、2024年11月に当金庫は、働きやすく、いきいきと働き続けられる職場づくりについて優れた取り組みを島根県が表彰する「しまねいきいき雇用賞」を受賞いたしました。今回の受賞はあらゆる階層に合わせた雇用や働き方を工夫し、職員の成長と経営が一体化されている当金庫の取り組みが評価されました。



しまねいきいき雇用賞授賞式の様子

■ 職員エンゲージメントについて

● 2024年度 職員へのアンケート結果

多様化する役職員の就業意識や仕事・組織に対する考え方など率直な意見を聴取し、当金庫の職場環境における課題等を明確にし、よりよい職場環境の実現に向けた改善活動に取り組んでいます。

今の仕事を通じて
自分の強みは生か
されていると思う

76.8%

自分に与え
られる業務量は
適正である

89.0%

仕事の中で
達成感や満足感を
得たことがある

89.4%

有給休暇は
取得しやすい

94.5%

ワーク・ライフ・
バランスが実現できる
職場環境である

91.8%

これからも島根
中央信用金庫で
働き続けたいと思う

90.1%

※当結果はコンプライアンスアンケートとして全職員へ無記名で行ったアンケート結果の内容を一部抜粋したものであり、質問に対し「1.その通り」「2.どちらかといえばその通り」「3.どちらかといえば違う」「4.違う」の4択で回答するもので、上記割合は全回答者のうち「1.その通り」と「2.どちらかといえばその通り」を選択した職員数を合計したものの割合です。

第51期貸借対照表

(2025年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
現預金	2,206	預金	293,892
預け金	43,822	当座預金	4,014
買入手形	—	普通預金	88,985
コ－ル口－ン	—	貯蓄預金	353
買現先勘定	—	通知預金	18
債券貸取引支払保証金	—	定期預金	187,633
買入金銭債権	—	定期積金	11,288
金銭の信託	—	その他の預金	1,597
商品有価証券	—	譲渡性預金	—
有価証券	80,964	借入金	1,110
国債	711	借当座借手形	1,110
地方債	21,076	売渡手形	—
社債	2,229	コ－ルマネー	—
株	5,928	売現先勘定	—
その他の証券	51,017	債券貸取引受入担保金	—
貸出金	173,657	コマーシャル・ペーパー	—
割引手形貸付	245	外国為替	—
手形貸付	2,816	その他負債	1,763
証書貸付	156,746	未決済為替	47
当座貸越	13,849	未払費用	844
外国為替	—	未払補填金	24
その他の資産	2,031	未払法人税等	197
未決済為替貸金	21	前受収益	63
信金中金出資	1,265	払戻未済金	28
未収収益	320	払戻未済分	59
その他の資産	424	職員預り金	56
有形固定資産	3,897	職リース債	291
建物	1,139	資産除去負債	82
土地	2,207	その他の負債	67
リース資産	264	賞与引当金	156
建設仮勘定	0	役員賞与引当金	—
その他の有形固定資産	284	退職給付引当金	—
無形固定資産	25	役員退職慰労引当金	80
ソフトウェア	12	睡眠預金払戻損失引当金	47
その他の無形固定資産	12	偶発損失引当金	108
前払年金費用	149	特別法上の引当金	—
繰延税金資産	2,089	繰延税金負債	—
再評価に係る繰延税金資産	—	再評価に係る繰延税金負債	83
債務保証見返金	2,503	債務保証	2,503
貸倒引当金	△1,921	負債の部合計	299,747
(うち個別貸倒引当金)	(△1,280)	(純 資 産 の 部)	
		出資	1,948
		普通出資	1,698
		優先出資	—
		その他の出資	250
		優先出資申込証拠金	—
		資本剰余金	250
		資本準備金	250
		利益剰余金	11,075
		利益準備金	1,964
		その他利益剰余金	9,110
		特別積立金	8,130
		(うち体質強化積立金)	(1,500)
		当期末処分剰余金	980
		処分未済持分	△6
		自己優先出資	—
		自己優先出資申込証拠金	—
		役員勘定合計	13,266
		その他の有価証券評価差額金	△3,778
		繰延ヘッジ損益	—
		土地再評価差額金	191
		評価・換算差額等合計	△3,587
		純資産の部合計	9,679
資産の部合計	309,426	負債及び純資産の部合計	309,426

第51期損益計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日現在)

科 目	金 額
	千円(切捨て)
経 常 収 益	7,934,572
資 金 運 用 収 益	4,440,236
貸 出 金 利 息	2,694,492
預 け 金 利 息	225,744
有価証券利息配当金	1,498,183
その他の受入利息	21,816
役 務 取 引 等 収 益	260,773
受入為替手数料	80,015
その他の役務収益	180,757
そ の 他 業 務 収 益	2,414,334
外国為替売買益	—
国債等債券売却益	2,361,245
国債等債券償還益	—
その他の業務収益	53,089
そ の 他 経 常 収 益	819,227
貸倒引当金戻入益	—
償却債権取立益	14,047
株式等売却益	805,147
金銭の信託運用益	—
その他の経常収益	32
経 常 費 用	6,688,687
資 金 調 達 費 用	467,349
預 金 利 息	453,324
給付補填備金繰入額	10,050
借 用 金 利 息	3,681
その他の支払利息	292
役 務 取 引 等 費 用	287,974
支払為替手数料	26,405
その他の役務費用	261,568
そ の 他 業 務 費 用	1,833,163
外国為替売買損	—
国債等債券売却損	387,572
国債等債券償還損	1,445,543
その他の業務費用	46
経 費	2,668,790
人 件 費	1,617,559
物 件 費	954,264
税 金	96,967
そ の 他 経 常 費 用	1,431,409
貸倒引当金繰入額	691,031
貸 出 金 償 却	—
株式等売却損	644,663
株式等償却	—
金銭の信託運用損	—
その他資産償却	4
その他の経常費用	95,710
経 常 利 益	1,245,884
特 別 利 益	4,627
固 定 資 産 処 分 益	4,627
特 別 損 失	6,966
固 定 資 産 処 分 損	0
減 損 損 失	6,966
その他の特別損失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	1,243,544
法人税、住民税及び事業税	514,738
法 人 税 等 調 整 額	△192,365
法 人 税 等 合 計	322,373
当 期 純 利 益	921,171
繰越金(当期首残高)	52,144
土地再評価差額金取崩額	7,067
当 期 未 処 分 剰 余 金	980,384

第51期剰余金処分

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	980,384,139 円
積 立 金 取 崩 額	16,204,500
剰 余 金 処 分 額	930,433,707
利 益 準 備 金	—
普通出資に対する配当金	(年1.8%) 30,433,707
特 別 積 立 金	900,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	66,154,932

上記の通り相違ありません。

2025年6月2日

島根中央信用金庫

理 事 長 福間 均

専務理事 田中 敏行

常勤理事 山本 雅信

常勤理事 壺倉 浩平

理 事 遠藤 充子

理 事 福代 明正

理 事 田平 篤

上記の計算書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分)は法令及び定款に従い、信用金庫の状況を正しく示しているものと認めます。

2025年6月2日

常勤監事 永見 之伸

監 事 周藤 真弓

監 事 福田 真也

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書については、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査を受け、適正に表示されている旨の監査報告を受理しております。

2024年度トピックス

2024年4月	・ ユースエール制度認定(2年連続) ・ 「江津支店新築移転記念定期預金・定期積金」の発売 ・ 島根県内6自治体及び石川県へ企業版ふるさと納税による寄附 目録贈呈
2024年5月	・ 出雲・平田・簸川地区スポーツ少年団野球大会を開催
2024年6月	・ 出雲大社境内、石見銀山公園の清掃活動を実施 ・ 「信用金庫の日」各店にてお客様イベントを実施 ・ 金利上乘せ定期預金「地域応援! サマーVer.2024定期預金」の発売 ・ 第50期通常総代会を開催 ・ 報告事項 第50期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)業務報告、計算書類並びに監事会の業務報告、計算書類監査結果報告の件 ・ 決議事項 第1号議案 第50期剰余金処分案承認の件 第2号議案 会員の法廷脱退(除名)の件 第3号議案 総代候補者選考委員の選任の件 第4号議案 退任理事への退職慰労金贈呈の件 ・ 江津支店新築移転オープン
	
2024年7月	・ テレホンバンキングサービスの提供終了
2024年8月	・ CO²排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash株式会社」とのビジネスマッチングサービス開始 ・ しまね子育て応援企業(こころカンパニー)認定(更新) ・ しまねイクボスネットワーク加入 ・ 出雲市イクボス宣言企業認定登録 ・ しまね女性の活躍応援企業登録
2024年9月	・ (第4回)日本政策金融公庫との資本性ローン等案件相談会の開催
2024年10月	・ アイフル保証付事業性資金「ビジネスカードローン応援団」「ビジネスローンクイック」の取扱いを開始 ・ 保険新商品「資産形成と保障のハイブリッド ツミタス」(アフラック)の取扱いを開始 ・ 「受験生&教育ローン利用者応援キャンペーン」実施 ・ 「プレミアム旅行会2024」を実施(劇団四季ライオンキング・歌舞伎観劇等) ・ 金利上乘せ定期預金「地域応援! オータムVer.2024定期預金」の発売 ・ 日本政策金融公庫と共催『創業フォローアップセミナー』を開催

2024年11月

- ・「高病原性鳥インフルエンザ」の疑似患畜に関する相談窓口の設置
- ・島根中央信金アプリバンキングの提供を開始
- ・しまねいきいき雇用賞を受賞



- ・「島根県内3信用金庫ビジネスフェア・島根県産品展示商談会2024」を開催
- ・いずも産業未来博『御縁』ブース参加(『御縁』が取扱う創業者(飲食店)29先)

2024年12月

- ・ATMでのAI検知による振り込め詐欺防止機能の利用を開始
- ・金利上乘せ定期預金「地域応援!ウインターVer.2024定期預金」の発売
- ・「能登半島復興応援寄附付定期積金」の発売

2025年1月

- ・しまね女性の活躍応援企業賞を受賞
- ・新年賀詞交換会(出雲・大田会場)を開催

2025年2月

- ・島根県丸山知事ご来訪 ～人財戦略について意見交換～
- ・「能登半島復興応援寄附付定期預金」の発売

2025年3月

- ・令和6年度地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例の内閣府特命担当大臣表彰



- ・健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)に認定(2年連続)
- ・厚生労働省『えるぼし認定(2つ星)』認定



- ・『御縁』連携団体共催『創業セミナー』を開催
- ・子ども食堂への寄付を実施(出雲市内35団体、大田市社会福祉協議会)

中央しんきん VISA一体型ICキャッシュカード「縁 en」

クレジット
年会費

初年度無料

当金庫ATM手数料無料

縁カード保有で
各種ローン・預金

金利優遇

※ATM手数料無料開始時期の目安について … 申込が月の前半=翌月15日より 申込が月後半=翌々月15日より

**預金口座登録で
キャッシュレス**



**交通系ICカードに
縁カードでチャージ**



電子マネー iD 対応



**縁カードは
iD対応!**

Google Pay Apple Pay を通じてスマホをかざすだけでお支払い!



**非接触
対応**

当座貸越セット



万一の残高不足の時
も安心!

ETC専用カード発行



ドライバーの必需品。発行手数料無料、
年会費無料!

WAON無料発行



当金庫で申し込んだWAONなら縁
カードでチャージ可能! 発行手数料・
年会費無料!

**全国約18,000台の
信金ATMで入出金無料**



全国の信用金庫ATMが手数料無料(平
日8:45~18:00入出金、土曜9:00
~14:00出金)
※土曜が祝日の場合は所定の手数料がかかります。

「縁 en」カード新規お申込の方へ

もれなく QUOカード 500円分プレゼント!



専用当座貸越を
お申込の方には

さらに

QUOカード 500円分プレゼント!

島根中央信金 アプリ



**ご利用
無料**

iOS版



Android版



↑ダウンロードはこちら↑



島根中央信金アプリ 3つのポイント

Point 1



原則24時間いつでも、
残高や入出金明細を
確認いただけます!

Point 2



来店不要で各種
お手続きのお申込みが
いただけます。

Point 3



**セキュリティも
万全!**

通信が暗号化されているので、
第三者からの盗聴や改ざん等の
心配はありません。

定期預金も定期積金もアプリでできます!!



店 名		所 在 地	電話番号	ATM取扱時間	
				平日	休日
①	本店営業部	出雲市今市町252-1	(0853) 21-1750	8:00~21:00	
②	南支店	出雲市駅南町1-2-2	(0853) 23-3088		
③	小山支店	出雲市渡橋町316-3	(0853) 23-1290		
④	斐川支店	出雲市斐川町直江4822-2	(0853) 72-0234		
⑤	平田支店	出雲市平田町2794-1	(0853) 62-2680		
⑥	大田営業部	大田市大田町大田イ660-1	(0854) 82-0740	8:00~20:00	
⑦	大社支店	出雲市大社町修理免766-6	(0853) 53-3140		
⑧	塩冶支店	出雲市塩冶町956-1	(0853) 23-0800		
⑨	出雲西支店	出雲市大島町26	(0853) 43-0080		
⑩	東支店	出雲市中野町323-3	(0853) 22-4500		
⑪	斐川東支店	出雲市斐川町莊原2249-2	(0853) 72-3311		
⑫	松江支店	松江市朝日町489	(0852) 21-0613		
⑬	松江北支店	松江市北田町59	(0852) 21-4358		
⑭	久手支店	大田市久手町波根西1987-1	(0854) 82-8724		
⑮	仁摩支店	大田市仁摩町仁万827-4	(0854) 88-2405		
⑯	江津支店	江津市江津町922-5	(0855) 54-1890		
⑰	桜江出張所	江津市桜江町川戸11-1	(0855) 92-8037		
⑱	川本支店	邑智郡川本町大字川本592-2	(0855) 72-0645		
⑲	瑞穂支店	邑智郡邑南町下田所349-2	(0855) 83-1155		
⑳	石見支店	邑智郡邑南町矢上107-2	(0855) 95-1231		
㉑	邑智支店	邑智郡美郷町粕淵370-5	(0855) 75-1243		

店 名	所 在 地	ATM取扱時間	
		平日	休日
① 出 雲 市 役 所	出雲市今市町70	9:00~18:00	—
② イオンモール出雲	出雲市渡橋町1066	9:00~21:00	
③ ゆめタウン出雲	出雲市大塚町650-1		
④ イオン大田店	大田市長久町土江97	8:00~20:00	
⑤ グッディー大田出張所	大田市大田町大田口933-6		
⑥ 仁摩支店温泉津出張所	大田市温泉津町小浜口30		
⑦ あいタウンアベル	畠智郡畠南町矢上996		